東アジアにおけるバイオマスタウン構想普及支援事業（新規）

【１９，１００（０）千円】

対策のポイント

東アジアにおけるバイオマスタウン構築を推進するため、バイオマスタウン構想の作成に向けた基礎調査や人材育成等の支援を実施します。

（東アジア地域の現状とバイオマスタウン構想について）

東アジア諸国は、温暖湿潤な気候を背景に、稲わら等のバイオマス資源が大量に賦存しており、その有効活用は、地球温暖化の防止に大きく貢献します。

このため、地域に賦存する様々なバイオマスを総合的に組み合わせて効率よく利活用するバイオマスタウン構想の取組を推進することが重要です。

本事業では、我が国のこれまでのバイオマスタウン構築に向けた取組から得られた知見・ノウハウを活用し、東アジアにおけるバイオマスタウン構想の普及を支援することで、東アジアにおける農村地域の活性化や地球温暖化防止への貢献を目指します。

政 策 目 標

我が国へも影響を及ぼす地球規模での環境問題、越境性疾病への対応

＜内容＞

１．バイオマスタウン構想作成に向けた基礎調査等

① アジア地域で過去に実施したバイオマス賦存量、利活用等に関する調査結果を検証し、対象地域を選定します。

② 対象地域の関係者等と連携を図り、バイオマスタウン構想の策定に必要な基礎調査を実施します。

③ 取組のキーパーソンとなり得る人材を選定します。

２．バイオマスタウン構想作成をコーディネートする人材の育成

① 上記で選定した対象者として、国内において、バイオマスタウンに関する研修・セミナーや現地調査を実施します。

② 対象地域において、バイオマスタウン構想の作成についての研修・セミナー、地域住民への普及・啓発のための研修成果発表会等を実施します。

③ これらの取組を通じ、バイオマスタウンプロジェクト関係者間のネットワークを構築し、日本およびアジア諸国の関係者間の人材交流、情報交換、技術の共有を活発化を図ります。

＜事業実施主体＞

民間団体

＜事業実施期間＞

平成２０年度～平成２２年度

［担当課：大臣官房環境バイオマス政策課（０３－６７４４－２０１７（直））］

20年度　東アジアにおけるバイオマスタウン構想普及支援事業

【1,910万円】

今までの成果

ネットワーク構築

バイオマスアジアワークショップ
16、17、18、19年
AIST、JIRCAS 、農水省、（経産省）
【科学技術振興調整費、農水省予算（16、19年）】

バイオマスアジアフォーラム
17年
農水省
【農水省APEC予算】

成功要因の分析

事例調査
18年タイ･インドネシア･中国
農水省
【農水省APEC予算】

事例調査
17年タイ、18年ベトナム
農水省
【環境保全型農業PS予算】

国内人材育成

バイオマスタウン構想人材育成
18年
農水省
【高度化推進事業】

バイオマスタウンモデルプラン作成
18、19年
農水省
【バイオマスタウンモデルプラン作成調査分析事業】

事業内容

1年目

基礎調査

実施地区、人材育成対象者の選定

国内での人材育成

2～3年目

現地での人材育成
（タウン作成セミナー、地域住民への啓発ワークショップ）

バイオマスタウン構想作成
チーム結成（現地政府、JICA、大学、民間などの関係者）

バイオマスタウン構想の作成
東アジアバイオマスタウンネットワークの構築

政策効果

バイオマスタウン

・バイオマス利活用システムの知識を有する人材創出
・アジア版バイオマスタウンのモデル構築

・持続的なバイオマス利活用システムの普及
・バイオマスの利活用を通じた農村地域の活性化
・地球温暖化防止への貢献

東アジアバイオマスタウンネットワーク

バイオマスタウンプロジェクト関係者の産官学ネットワーク

人材交流、情報交換、技術共有

ODA、CDM、共同研究等プロジェクト創出

日本発のバイオマスタウンで
アジア持続的バイオマス利活用システム構築